若い人たちに語り継ぎたい、 次の世代に残しておきたい。 貴重な話をお届けしますー

## あすへひと

いつの時代までも残したい

## 邑楽町の昔ばなし



おうら祭りのフィナ -レを飾る花火。至近距離で見るこ とのできる 大迫力の花火です。花火会場は毎年、多くの観客でにぎわっています

包みこんでくれるのが花火なのです。こ られることを本当にうれしく思います。 ライトアップの色合いがとても優しく れからもぜひ、花火を上げ続けていただ ていて、どんな状況でも私をも柔らかく た私は、邑楽町で、しかもすぐ間近で見 はないかと思います。その花火を見て育っ から、花火で皆さんに知られているので と同じように感じていることでしょう。 グ、ジョギングをされる人たちも、きっ 心が癒されます。犬の散歩やウオーキン す。設計当時騒がれたシンボルタワーも、 が分かってきて、より好きになってきま 幼い頃からの思い出がいっぱい詰まっ 私は、新潟県長岡市の出身です。以前 住み慣れてくると、年々邑楽町の良さ

という間に時が過ぎて行きました。 らず日々夢中で子育てをしながら、 があったんだなあ」とうれしく思います。 なるなんて思ってもみなかったので、「縁 たのです。その頃は邑楽町に住むことに 土手を通ったことがあることも思い出し というすばらしい沼があることを知りま 向けられるようになったとき、多々良沼 した。また以前、一度ドライブに来て桜 そして、周りの様子にもようやく目が 引越して来て何年かは、右も左も分か

ませんでした。 機械化農地に変わるとは誰一人想像もし 家の苦労もひとしおでした。 式の足ぶみ脱穀機で脱穀しましたが、 このような湿地帯が団地となり、

か夢をば見つつ筆を置きます。 果たしてこれからいかに変わり行くの 3 のりの秋

きたいなと思います。

あっ

花火

散歩の道すがら自然の恵みのありがたさ と黄金色を増していくのを眺めて、また ら整然と開拓された水田の稲穂が日一日 に感謝しております。 第二のふるさとの明野の自宅の窓辺か

コ狩りをした記憶もあります。 近まで雑木林と大木の松林が続き、 は中野沼まで大湿地。北の丘は蛭沼、前原 善寺に通じる孫兵衛川までの道路の東側 む清流がありました。そして、駅から光 前谷、下中野、鶉南から日向船着き場付 んで来ました。駅前から中野沼に流れ込 ふと八十年前の明野地域が彷彿と浮か

湿地に入ると腰まで浸かってしまいまし でつかみ刈りして運び、乾燥したドラム て1mあまりの箱舟を引いてのこぎり鎌 の木が一本生繁り、二本の丸太橋を渡り た。湿地に稲を植えて秋には腰まで浸かっ 北向観音の側道を南へ下ると大きな柿 また

> 【発行】邑楽町老人クラブ連合会 【編集】あすへひとこと編集委員会 (平成20年6月28日発行「邑楽町の昔ばなし(第九集)あすへひとこと」)より

秋の気配 (中央公園)





Photo 髙根澤高明(記録ボランティア)

## ひとりごと From editors

皆さん、新しいおうらお知らせメールは登録していただけまし 広報おうら7月号で大きくお知らせした通り、8月からお知らせメー ルが生まれ変わりました。イベント情報、防災・防犯情報、行政情報、火 災情報の中から、欲しい情報を選べるようになりました。ぜひ、登録を お願いします。▶実は、今年のおうら祭りでお知らせメール宣伝用の コイイうちわを配布しました。本数が少なかったのでかなりのレ イテムです。幸運にもお持ちのかたは大事にしてください。きっと 何かいいことが……(笑)。▶さて、お知らせメールの登録が難しい、よ く分からないというかたは、役場企画課の情報政策係までお問い合わ せください。唐澤主任だけでなく私も対応させていただきます。(小室)

VEGETABLE OIL INK

